

当社では、「人と技術と商品を大切にして、新しい時代にふさわしい、美しい都市機能を、世界の国々で、世界の人々とともに創ります。」という経営理念を実践することこそが当社のCSRであると認識し、全社一丸となった活動を推進しています。社会や自然との共生を図り、持続可能な社会を実現するために、そして真に価値ある企業となるために、ステークホルダーの皆様とともにさまざまなCSR活動に取り組んでいます。

安全への取り組み

●メンテナンス

昇降機が安全かつ快適に運行し続けるためには、適切な管理とメンテナンス点検、定期検査が不可欠です。フジテックは、開発・製造から保守までの一貫体制によって、安全な社会インフラの構築に寄与しています。エレベータは、概ね1～3カ月に1度、専門技術者による点検に加え、遠隔監視と自動点検を24時間365日行っています。

●安全向上パッケージ

既設エレベータの安全対策として、「安全向上パッケージ」を用意しています。このパッケージは、戸開走行や地震・停電時の閉じ込めを防止する機能に加え、地震によるロープ類の外れや引っ掛かり、脱レールを防ぐ耐震補強を一つにした商品です。最小限の費用と手間で、法令に準拠した最近の安全基準を満たします。

●安全意識の向上

グローバルに安全意識を高めるため、フジテックグループ内では、安全に関する研修を各所で実施しています。日本にあるグループの中核研修施設の「人材開発センター」では、グローバル拠点からフィールド技術者を招聘し、安全に関連する研修を実施。参加者らは研修で学んだことを持ち帰り、講師として現地法人内のフィールド技術者を対象に研修を実施しています。また、グローバル拠点でも研修センターを設け、技術者の技術力向上に取り組んでいます。



エレベータの保守業務

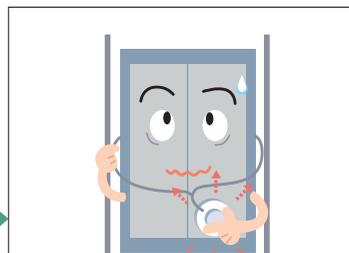
地震対策パッケージ

エレベータの地震対応で重要なのは閉じ込め防止と早期復旧です。そのためには、すばやく地震を感知し、最寄り階に乗客を降ろす閉じ込め防止と、停止したエレベータを早期に復旧することが必要です。「地震対策パッケージ」は、リスタート機能付P波地震管制運転と自動診断復旧運転をセットにした最新の地震対策商品です。



広域地震発生！

通常では技術員到着までエレベータをご利用になれません。長時間お待ちいただくケースも。



自動診断

エレベータが自動運転、扉開閉等自己診断を行い、機器に異常が無いかチェックします。



復旧

自動診断の結果機器に異常がないと判断すると、技術員到着までの間、エレベータを利用できるよう『復旧』します。

人材開発・技術の伝承

●第5回全国据付・改修技能競技大会を開催

当社は、エレベータ・エスカレータの設置技術の向上を目的とした「全国据付・改修技能競技大会」と、メンテナンス技術の向上を目的とした「全国保守技能競技大会」をそれぞれ隔年で実施しています。

2017年7月に、人材開発センター(大阪)で開催した「第5回全国据付・改修技能競技大会」では、予選を勝ち抜いた精鋭13チーム26人が参加。2日間にわたり、4種混合競技(溶接・検査・据付・施工)、筆記、電気回路作成、顧客との面談シミュレーションなどで競い合いました。



●海外初の保守技能競技大会を開催

2017年10月には、台湾の現地法人 Fujitec Taiwan Co., Ltd.(フジテック・タイワン)の研修センターで、海外では初となる保守技能競技大会「Fujitec Global Field Engineering Skill Competition 2017」を開催しました。大会の目的は現場技術力の



の向上とグローバルレベルの技術情報の共有、将来のメンテナンス事業を担う人材の育成です。台湾・香港・日本の3カ国から2人1組で結成した8チーム計16人が参加し、2日間、6種目(筆記、電気回路作成、故障対応・調査、点検実務、修理・改修実務、分解・組立実務)で技能を競いました。



グローバルビジネスリーダー研修を実施

当社は、2012年より、若手社員を対象にした「グローバルビジネスリーダー研修」を実施しています。参加する部門は営業、フィールド、バックオフィスと幅広く、研修期間は10カ月。研修内容は、英語で行うネゴシエーションやプレゼンテーション、現場での作業指示、財務会計知識の習得などです。すでにグループの海外法人に赴任し、活躍している社員も数多く輩出しています。グローバルビジネスがますます拡大する中、今後もグローバル人材の育成に向けて、積極的に取り組んでいきます。



プレゼンテーションの研修の様子

社会貢献活動

●彦根市の火災防御訓練に協力

2018年2月、本社ビッグウィング(滋賀)において、彦根市の「平成30年春の火災防御訓練」が実施されました。当日は彦根市消防本部、彦根市消防署、彦根市消防団など総勢150名以上、指揮車・消防車26台、消防バイク16台が参加。ビッグウィングの第2工場から出火・延焼拡大中と想定し、放水訓練を実施しました。今後も地域社会の一員として、防災活動に協力します。



放水訓練の様子



地域全体の消防訓練

●小学生を対象にした「安全教室」を国内外で実施



本社ビッグウィングでの安全教室



中国での安全教室

当社は、2013年より毎年、小学生を対象にしたエレベータ・エスカレータの安全な乗り方を啓発する「安全教室」を実施しています。フジテックのマスコットキャラクター“テッキー”が登場する安全教育DVDの鑑賞や安全ノートの配布、研究塔見学、実際のエレベータを使ったクイズなど、楽しく学ぶことができるよう工夫しています。

2017年は、日本、中国、香港で安全教室を実施しました。日本で行った安全教室では、当社のエレベータ研究塔(高さ170m)のロビーに高速エレベータで昇り、普段は見ることのできない町の景色に大興奮でした。

●海外拠点の活動

海外の当社グループ各拠点でも、CSR活動に積極的に取り組んでいます。Fujitec (HK) Co., Ltd. (香港)では、2017年11月、香港赤十字社と協力して献血デーを開催しました。また、日本におきましても、同様の取り組みを定期的に変更しております。今後も地域社会に貢献すべく、さまざまな活動に取り組んでいきます。

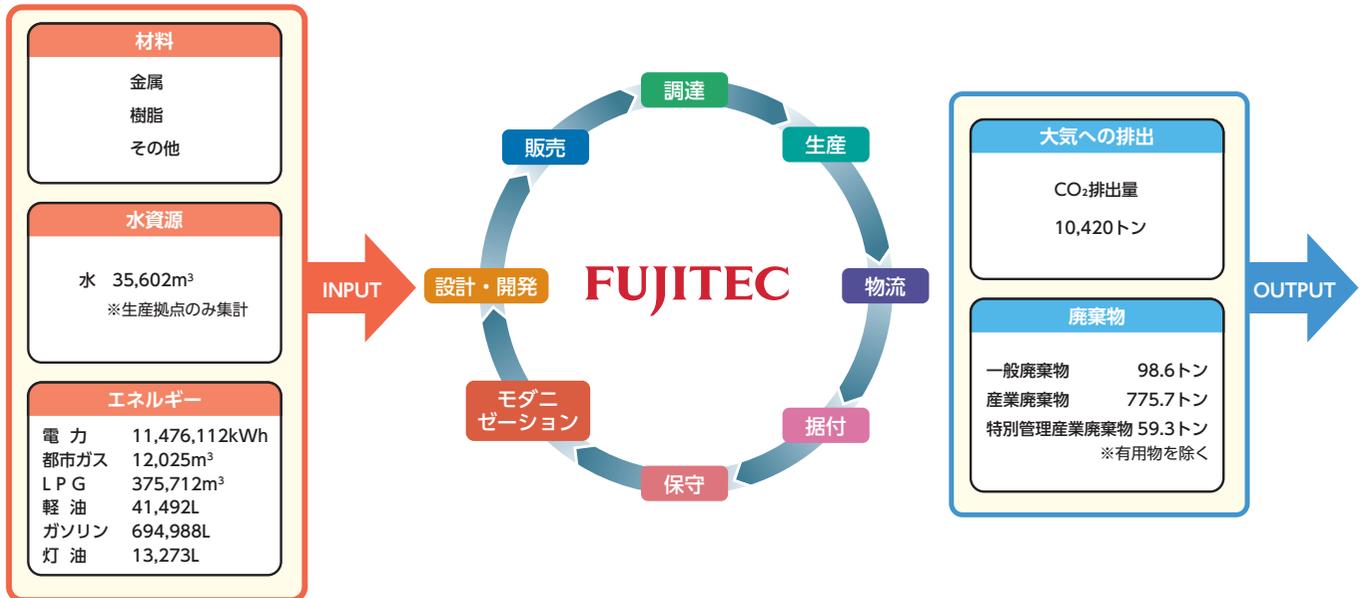


香港の参加者

環境活動

当社は、社会の持続可能な発展のために、環境への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置づけ推進しています。社会・経済の発展と地球環境との共生を目指し、エレベータ・エスカレータ等の開発、設計、製造、フィールドサービスならびに製品が環境に与える影響を的確に捉えて環境目的・目標を定め、その実現に向けてグループ一丸となって取り組んでいます。

●環境負荷の総量（2018年3月期） ※対象範囲：日本国内の当社・工場・支社・支店・営業所・サービスセンター



●ヨシ刈りボランティアに参加

当社は、2018年2月、伊庭の里湖づくり協議会・東近江市が主催する琵琶湖の「ヨシ刈りボランティア」に参加しました。琵琶湖岸に生息する葦(ヨシ)は、水の浄化や湖の生き物の生態系保全に重要な役割を果たしています。成長したヨシを冬に刈ることで、新しいヨシが丈夫に育つことから、この時期に行われます。刈ったヨシは「ヨシ紙」に加工し、ノートやコピー用紙等として販売され、収益はヨシの育成活動に使われます。

●外来魚の駆除活動を開催

滋賀県は、琵琶湖の生態系に大きな影響を及ぼしている外来魚(ブラックバス、ブルーギルなど)の駆除対策に力を入れています。当社はこの対策事業に賛同し、毎年参画しています。

2017年は、10月に「第7回フジテック外来魚駆除釣り大会」を開催。初めて釣りをする人も楽しく参加できるように、当社の釣り同好会員が指導をしています。釣り上げた外来魚は、NPO団体が引き取り、堆肥に加工して近隣農家に提供されています。



ヨシ刈りボランティア活動の様子